

DigiCert CertCentral Manager、 ServiceNow™ と統合

servicenow™

ServiceNowでDigiCertを使用してSSLサーバ
証明書のライフサイクル全体を管理する

一元管理の実現

DigiCert CertCentral® ManagerがServiceNowアプリストアで入手可能になりました。これによって、企業はSSLサーバ証明書を既存のITワークフローで、アプリケーションを切り替えることなく管理できるようになります。

ServiceNowは、数多くの企業のITプロジェクトと資産を管理する、ITの自動化の分野でリーダーとしての地位を確保しています。これまで、ServiceNowでの証明書ワークフローの管理には、複数のツールと多くの手作業が必要でした。しかし、新しいDigiCert CertCentral Managerアプリを使用することで、TLSをシームレスに一元管理できるようになります。それによって、証明書発行の時間短縮を実現し、証明書の失効を防ぎ、手作業を削減することができます。

機能

- SSLサーバ証明書の管理
- 証明書の追跡と検出
- 証明書リクエストの承認、却下、編集
- ユーザーと承認の管理

メリット

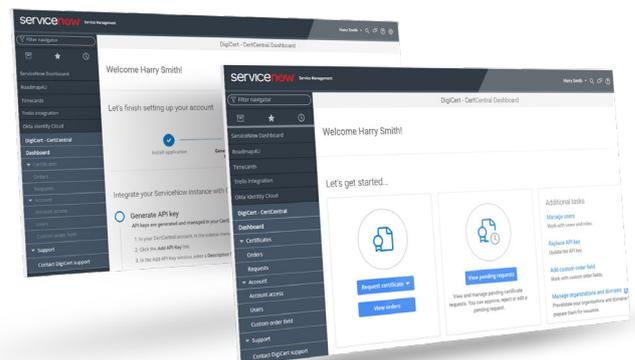
- ServiceNow内の最適な場所に配置
- 新しい証明書の実装を合理化
- セキュリティの問題を回避
- 証明書の配布を加速

簡素化と構造化

従来の証明書管理は、企業ごとに異なっていました。その方法は、ゼロマネジメントから手作業による管理まで、広範囲に及びます。スプレッドシートと電子メールの使用は、単純にプロセスをスローダウンさせただけで、ヒューマンエラー、証明書の期限切れなどリスクが増加しました。ServiceNowでCertCentralを使用すると、管理とポリシーは集中管理され、最適化されます。

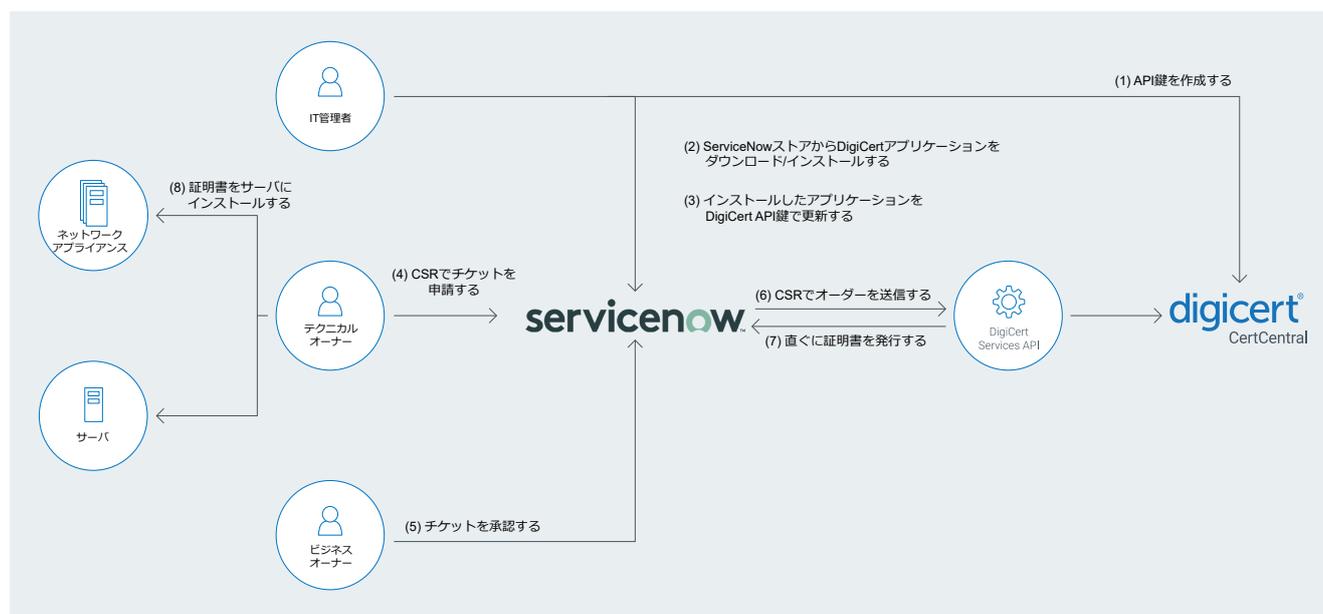
セットアップ中に、IT管理者は、管理者、承認者、申請者の明確な役割を確立できます。承認された申請は、直ちに正式オーダーに変換され、より迅速に（事前認証された企業の場合はほとんど瞬時に）証明書をダウンロードする準備が整います。認証されたユーザーに権限を割り当てることで、必要に応じて証明書を編集し、処理を促進することもできます。さらに、役割の変更が必要な場合、アクセス権も直ちに変更できます。

証明書の目的、場所、所有者、有効期限などに基づいてフィールドをカスタマイズすることにより、管理者は組織内のすべての証明書を迅速に構造化し、場所を特定して、監視することができます。



手順

インストールは簡単です。最初に、管理者がCertCentral API鍵をダウンロードします。次に、ServiceNowストアでDigiCert CertCentral Managerアプリをダウンロードして、インストールします。その後、CertCentral API鍵を追加し、インストールされたアプリケーションをその鍵で更新します。完了すると、企業のCertCentral設定とポリシーが直ちに利用可能になります。ただし、管理者はユーザーを追加し、役割を割り当てる必要があります。



ServiceNowストアからDigiCert CertCentral Managerアプリのダウンロードは[こちら](#)になります。また、ServiceNowでCertCentralを有効にするために、担当営業、0120-707-637までご連絡ください。